

できる・できる・できる

申 校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和6年1月22日

No. 55 (第183号)

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

戸町中学生徒の飛躍を報告！

18日(木)に、第2回学校評議員会を実施し、学校評議員の井上さおりさんと川口英子さんにお越しいただきました。

(1名欠席でした。)

まずは、“百聞は一見に如かず”で、全学級(ミナカミ教室含む)の授業を参観し、Chromebookを巧みに操作する生徒の様子や、



黒板に出題された問題を解く生徒たちの様子。そして、細かいタッチで作画する美術の授業と、元気に身体を動かす保健体育の実技。特別支援学級の授業では、理科



室で興味津々に実験の準備をする生徒たちの姿を見ていただきました。

参観後は、2学期からの生徒の活動の様子について学校だより等を使って丁寧に説明し、生徒たちの飛躍していく様子のもとより、本校教職員の教育活動に奮闘する姿もお知らせしました。



また、数値的根拠となる「校訓追求評価」についても、本校の強みと弱みに触れながら説明しました。最後は、コロナ禍の影響もあり、しばらく実施できなかった学校給食の試食です。「熱々ですね」、「美味しい」等々、多くの感想をいただきました。



客観的に本校の教育活動に対して質問や助言等をいただきながら、教育活動の深化にも繋がる学校評議員会。今後も学校評議員のみなさまのお力添えを本校の“教育活動の追い風”としながら実践していきたいと思っております。(*^~^)



心の種

今回のテーマは「整然と！」です。

3学期始業式でも生徒たちに伝えたのですが、儀式的行事や生徒集会、各学年集会等での生徒たちの集合、並びに、整列が一段と良くなっています。開始時刻よりも前に集合した学級から学級委員のはたらきかけで、順次整列して座り「黙想」に入ります。後から入ってくる学級は、その空気感を敏感に感じ取り整列していきます。誤解のないように、これまでできなかったのではなく、さらに、精度が高まり整然と並んでいるということです。



生徒たちの“強み”の一つに「元気のよさ」があります。

このことは、3年生の面接練習でも自信をもって話してくれます。場に応じた言動の一つである「整然とした整列」も“強み”の一つに加えられるようにしていきたいですね。(*^▽^*)



第50回長崎県アンサンブルコンテスト

クラリネット三重奏 **金賞** (吹奏楽部)

岩橋 王稀さん、野崎 百穂さん、田浦 杏莉さん

2月の主な行事予定



1日(木)：公立高等学校前期入試

教育相談(1・2年生)(~6日)

テスト前部活動中止(~8日)

6日(火)：入学説明会(小学6年生・保護者)

8日(木)：学年末テスト1日目(全学年)

弁当の日

公立高等学校前期合格発表

9日(金)：学年末テスト2日目(全学年)

14日(水)：学級・全校専門委員会

15日(木)：生徒評議員会

16日(金)：評議員会・専門委員会報告

22日(木)：授業参観・育友会(1・2年生)

※今年度最後の授業参観です。保護者のみなさまの多くのご来校をお待ちしております。

ワクワクを仕事にすると楽しい!

19日(金)に、1年生の総合的な学習の時間を活用し「職業インタビューシップ」を実施しました。この学習は、県キャリア教育実践チーム代表の野口千恵子さんのご協力のもと、生徒たちが、各種事業主の方々にインタビューしながら生き方や職業への理解、自らのキャリアへの意欲や関心を高める授業です。



お越しいただきましたゲストティーチャーの方をご紹介いたします。

【製菓業】

- 株式会社サンミシェル
代表取締役 萩田 実さん

【製菓業】

- 小浜食糧株式会社 常務取締役 金澤 友己さん
- 【サッカーチームクラブ】
- 株式会社 FANTASISTA
代表取締役 大久保 誠さん

【NPO 法人】

- NPO 法人シームレス 理事長 上野 辰一郎さん

【姿勢矯正】

- AttiranT 代表 三根 銀平さん
- 【エステティックサロン】
- In`tension 代表 須賀佳菜子さん、松尾 理菜さん
- 【ファイナンシャルプランナー】
- ジブラルタル生命 営業次長 野口 千恵子さん

お菓子を美味しくするためのチョコレートを溶かす作業や“パリッ”とした食感の追求。コロナ禍で苦しい時も会社を守らなくてはならなかった苦悩。



他県で仕事をしていた時に改めて長崎の人の良さや温もりを再認識し帰省したこと。社会に出ると理不尽なことが多々ある。そのような中で見つけた出会い。現在に至るまでの考えや大切にしてきたことなどと、生徒たちからのインタビューをきっかけとして、“人生のターニングポイント”を含めた様々な話をお聞きすることができました。

ゲストのみなさんに共通した内容をいくつかまとめると、

- ~~~~~
- ◆人との出会い。共感。役に立ちたい。できること。
 - ◆仲間たちとの試行錯誤で、お客様が喜んでくれる。
 - ◆「自立」とは自分で考え、伝えることができること。
 - ◆ワクワクする仕事ができること。
 - ◆人と関り、人のために仕事ができること。
 - ◆簡単な事を選択するのではなく、未来に繋がる方策を考えること。
 - ◆楽しい仕事をする「財」も入ってくる。収入の財だけではなく、人と繋がる・出会うという「財」。
 - ◆勉強はしなくてもよい。ただし、それに代わる願いや希望があるのであればそれを目指す過程も勉強。
 - ◆何をを目指すかが大切。ぜひ見つけた方がよい。
- ~~~~~

今回の「職業インタビューシップ」は、市内中学校でも先駆的な学習で、生徒たちがお話を聞くだけではなく、インタビューを通じ“言葉のキャッチボール”をしながら、夢をもって生きることや仕事に向かう姿勢にも触れることができました。直接、「生きがい」や「苦勞」、「喜び」を知ることができたことも大きな収穫となりました。(〇〇)／

また、ゲストの方々のお話するときの表情がとても“素敵”で、笑顔で語りかけ、手振り、身振り等、全身全霊で伝えてくださる姿勢こそが、生徒たちには“素敵”に映ったことは間違いないと核心した体験的学びの場でした。一部ですが写真でご紹介します。

